

2015年6月 ITU-R WP1B 会合報告書

- 【会合名称】 ITU-R WP1B 会合
 (周波数管理手法に関する作業部会)
- 【会 期】 2014年6月3日(水)～6月10日(水)
- 【開催場所】 スイス ジュネーブ ITU 本部
- 【概 要】

本会合は今研究期間における第5回会合である。本会合には36ヶ国の主管庁と2のROA (Recognized Operating Agencies)、5のSIO (Scientific or Industrial Organizations)などから計135名が参加した。日本からは塚田氏、芦澤氏(総務省)、石田氏(クアルコムジャパン)、植田氏、張氏(NICT)、大木氏、庄木氏(東芝)、小川氏(ARIB)、久保田氏(テレコムエンジニアリングセンター)、小林氏(ドコモCS)、齊藤氏(横須賀リサーチパーク)、佐々木氏(デンソー)、花澤氏(UL Japan)、森氏(ワシントンコア)の合計14名が参加した。

日本、中国、米国、ロシアなどからの入力文書及び前回の議長報告と他SGグループからのリエゾン文書を含め合計55件の入力文書が審議され、26件の出力文書が作成された。

前回会合でWRC-15議題を担当するWG1B-2の作業が終了したことから、本会合ではSRD関連を扱うWG1B-1とその他事項を扱うWG1B-2の2つのWorking Group (WG)が設置され各議題についての審議が行なわれた。会議の構成は表-1のとおりである。

また、表-2に入力文書一覧を、表-3に出力文書一覧を示す。

表-1 WP1Bの会議構成と各グループの担当議題

Working Party 1B 議長代理 (Acting Chairman) : Mr. Chang 氏 (CHN)
Working Group 1B-1 議長 : Mr. F. M. Yurdal (Robert Bosch (D)) 担当 : ショートレンジデバイスとその関連事項
Working Group 1B-2 議長 : Ms. Gabrielle Owen (HOL) 担当 : その他の事項

1 Working Group 1B-1 ショートレンジデバイスとその関連事項（議長: Mr. F. M. Yurdal (Robert Bosch (D))

入力文書：1B/183(WP 4C),184(WP 4A),185(WP 7B),186(WP 7D),187(WP 7C),190(イスラエル),191(WPs 5A、5C),194(WP 5B),195(WP 5C),197(JG-Res.9),199(SG 1 議長),201(WP 5D),202(CG 議長),203(インドネシア),204(T-SG 15),205(ブラジル),206(米国),207(米国),208(ITU-DSG 1/JG-Res.9),209(インドネシア),211(イスラエル),212(中国),214(中国),217(ロシア),219(ロシア),221(カナダ),223(韓国),224(日本),225(日本),226(日本),227(日本),228(オーストリア、ドイツ、フランス、フィンランド),229(テレコムイタリア),230(ARG),231(フランス),233(SG 1 議長),235(WP1A・WP1B 議長)

出力文書：1B/TEMP/ 87,88,103,104,105,107,108,109,110,111,112

【主要結果】

ロシアが主導してきた Dynamic spectrum access に関する PDNRep については多くの主管庁や WP から様々な懸念が提示され、審議は紛糾した。主題を「DSA」から「CRS Spectrum Management Challenges」と改訂し、これにあわせて副題も「Spectrum management principles, challenges and issues related to dynamic access to frequency bands by means of radio systems employing cognitive capabilities」へと修正された上で作業文書は次回会合へとキャリーフォワードされた。欧州から提案された SRD の分類の共通化に関する PDNR の作成については勧告化に反対する見解（イラン、米国）があったことから、報告とする案も含めて今後の CG において審議するとされた。報告 ITU-R SM.2153 の改訂は日本からの提案が反映された上で承認され、SG1 に上程された。本 WP 会合から SG1 へ上程された文書は本報告の改定案のみだった。

1.1 ショートレンジデバイス

入力文書：1B/ 202(CG 議長),207(米国),227(日本),231(フランス)

出力文書：1B/TEMP/87, 88,107

(1) 主要結果

欧州提案により、SRD の分類の共通化に関する PDNR の作成が提案されたが、勧告化に反対する見解（イラン、米国）があったことからこれに関する判断は今後の CG における研究において実施するとされ、作業文書が更新され、CG の ToR とあわせて次回会合へキャリーフォワードされた。また、報告 ITU-R SM.2153 は特段の議論なく日本、米国からの提案が承認され、これを反映する形で改訂版が完成した。本文書は SG1 においても特段の議論なく承認された。

(2) 審議概要

1) SRD の分類の共通化に関する PDNR 提案

入力文書：1B/202 (CG 議長)、231 (CEPT 共同提案 (フランスより入力))

出力文書：1B/TEMP/87、107

2014 年 6 月の WP1B 会合において SRD の分類に関する質問票を回章することが決定され、これを担う CG が設置された（議長：Thomas Weber 氏 (ECO)）。この質問票に対して、カナダ、韓国、ロシア、CEPT から回答があり SRD アプリケーションの制度上の利用状況等に関する情報が収集された。また、SRD アプリケーションの使用規制の共通化を促進するため、ITU-R 決議 54-1 に即して SRD の分類やアプリケーションの定義の共通化に関する更なるガイダンスを行うことに対して、すべての回答者が賛成したことが CG 議長より報告された。この結果を受け CEPT は

本会合において SRD の分類を共通化するための新勧告策定を提案した。

審議の過程において、米国は SRD は各国において個別の法制度のもと運用されている状況であり、この分類を国際的にハーモナイズするための勧告は不要であるとした上で、代替として報告を作成すべきであると主張した。これに対し SRD に関する報告は既に存在するため同文書は勧告とすべきであるとフランスが主張し、CG 議長がこれを支持したことから PDNR を作成することで WG レベルにおいては合意された。しかし、その後、WP1B プレナリーにおける審議において、勧告化の必要性についてイランが反対し、米国がこれを支持したことから、現時点では作業文書として維持し、勧告とするか報告とするかは今後の CG における審議を経て決定することで合意された。

また、イスラエルが「すべての ISM バンドは SRD 用にハーモナイズされている」という点を勧告の considering に追記することを求めたが、フランスが SRD と ISM バンドの間に直接的な関係性はないとしたほか、CG 議長が SRD の分類と周波数マターは明確に切り分けておくことが適切であると指摘したことから、本研究においては周波数に関する言及は控え、あくまで SRD の分類において国際的なハーモナイゼーションを図る記載のみに留めるとする基本方針で合意された。

これらの審議を経て、作業文書は CEPT からの入力文書を反映する形で承認され、CG の ToR を定めた文書と共に次回会合へとキャリアフォワードされた。今後、CG 活動を継続し、上述のとおり勧告化する必要性があるかについても含めて継続検討する予定である。

2) 報告 ITU-R SM.2153 の改訂

入力文書：1B/207（米国）227（日本）

出力文書：1B/TEMP/88

我が国より電波法改正の内容を報告 ITU-R SM.2153 に反映するために、小電力無線局の送信出力や周波数ごとに各システムのパラメータ規制値の更新を提案し、特段の議論なく承認された。また、米国からは小電力無線局に関する FCC 規則を入手できるウェブサイト情報を更新するエディトリアルな修正が加えられ、これも変更なく承認された。WP1B プレナリーにおいてイスラエルが、日本の微弱無線局の出力制限（表 17）は韓国における規則（表 4）と酷似していることからこれについて表 17 に注記を加えることを希望し、日本がこれを承諾したため修正された。

同報告はこれらの修正を経て改訂され、WP1B より TEMP/88 として発出された。後に同文書は、SG1 に上程され、承認された。

1.2 ワイヤレス電力伝送(WPT)

入力文書：190(イスラエル),211(イスラエル),212(中国),224(日本),225(日本),226(日本),235(WP1A・WP1B 議長)

出力文書：なし

ワイヤレス電力伝送 (WPT) に関して日本やイスラエルからの文書、合計 7 件が WP1B に入力されたが、これらの文書は WP1A が主担当で審議することから WP1B においては情報目的のみの扱いとされ特段の議論なくノートされた。

1.3 勧告ITU-T G.9959 “G.wnb-freq”

入力文書：204(ITU-T SG 15),233(SG 1 議長)

出力文書：104, 110

ITU-T SG15 より、ラポータグループ Q15/15 により改訂勧告案 ITU-T G.9959 が承認されたことが連絡された。また、ITU-T SG15 は同勧告の承認を受け、同勧告の PHY におけるベースバンド信号処理に関わる内容を含む勧告案 ITU-R “G.wnb-freq” の策定を求めたことから、新勧告案

の作業文書が更新され、これを ITU-T SG15 に連絡するリエゾン文書が発出された。

1.4 コグニティブ無線システム及び周波数共有アクセス

入力文書：183(WP 4C),184(WP 4A),185(WP 7B),186(WP 7D),187(WP 7C),191(WPs 5A、5C),194(WP 5B),195(WP 5C),197(JG-Res.9),201(WP 5D),203(インドネシア),206(米国), 208(ITU-D SG 1/JG-Res.9),209(インドネシア),214(中国),217(ロシア),221(カナダ),223(韓国),229(テレコムイタリア),230(ARG)

出力文書：1B/108,109,111,112

(1) 主要結果

報告 SM.[DYNAMIC.ACCESS]に向けた作業文書に対し、前回リエゾン文書を発出した WP を含む数多くの組織・主管庁より入力文書が提出された。その多くが本研究の推進に対して否定的な見解であった。DG を設けて長時間審議したが、研究活動の範囲や用語の定義など根本的な箇所において議論が紛糾し、特段大きな成果はなく多くの情報が角括弧付で残されたまま作業文書が次回会合へとキャリーフォワードされた。また、本作業文書について連絡する ITU-D、および ITU-R の複数 WP に対するリエゾン文書 2 点が作成された。

さらに、本事項は今後の研究活動を加速させるため CG ではなく RG を設けて審議することで合意され、RG に関する ToR が作成された。RG 議長は本会合中に DG 議長を務めた Pellay 氏（フランス）が選任された。

(2) 審議概要

2014 年 6 月の WP1B 会合において、報告 SM.[DYNAMIC.ACCESS]に向けた作業文書に関するリエゾン文書が作成され、WP4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C, 7D に対し送付されていたが、これに対しこれらの WP より多くのリエゾンバック文書が WP1B に入力された。

作業文書を更新する提案として、ロシアからは位置情報データベースを基にしたコグニティブシステムのモデルに関する情報が、また、中国からコグニティブ無線を用いた DSA の研究に関する情報等が提供されたが、その他、多数のリエゾン文書を含む多くの入力文書が同報告に関する研究の推進そのものや、最終的な目的を疑問視する否定的な内容であった。

本件については DG を設けて議論することで合意され（DG 議長：Pellay 氏（フランス））、DG による審議が 6 回開催された。

DG の審議においては以下のような見解が提示された。

- WP1B では DSA の利用を促進する周波数管理技術のみ取り扱うべきであり、特定の周波数帯や業務における DSA の実現について扱うべきではない
- DSA の利用について特に共用に関する研究がなされずに運用されるものについては「混信を与えず、保護されることを求めない」という条件を付すのみでは不十分である
- DSA や特定の無線通信サービスに関する共用研究は被干渉側システムについて責任をもつ SG の専門家によって行われるべきである
- DSA やその関連技術の定義についての国際的な共通認識が不足しており、本作業文書を進展させるのは時期尚早である
- ホワイトスペースを利用する無線局が本報告の議論の出発点となっていたが、このコンセプトを全般的な DSA へと一般化することで、DSA の利用が制限されるという懸念がある

このような多数の否定的な見解を含め、DG における審議を経て、一部のテキストは合意されたが作業文書の中の多くの記載が角括弧付のまま次回会合へキャリーフォワードするとされた。報告の範囲を明確にするために、主題は「DSA」を改め「CRS Spectrum Management Challenges」に、あわせて副題も「Spectrum management principles, challenges and issues related to dynamic

access to frequency bands by means of radio systems employing cognitive capabilities」へと修正された。本作業文書について連絡するリエゾン文書が ITU-D SG1 (Resolution 9 関連のグループ)、および ITU-R の WP(4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C, 7D) に対して発出された。さらに、本事項は今後の研究活動を加速させるため CG ではなく RG を設けて審議することで合意され、RG に関する ToR が作成された。RG 議長は本会合中に DG 議長を務めた Pellay 氏（フランス）が選任された。

1.5 革新的規制ツール

入力文書：1B/195(WP 5C), 199(SG 1 議長), 203(インドネシア), 205(ブラジル), 219(ロシア), 228(オーストリア、ドイツ、フランス、フィンランド)
出力文書：103, 105

(1) 主要結果

2014 年 6 月の WP1B 会合において研究が開始された作業文書（PDNRep. ITU-R SM.[INNOVATIVE REGULATORY TOOLS]）が更新され、次回会合にキャリーフォワードされた。また、本作業文書について連絡するリエゾン文書が WP5A、5D に対して発出された。

(2) 審議概要

2014 年 6 月の WP1B 会合においてフランスからの提案により周波数の共同利用を一層促進させるための革新的な規制事項に関する ITU-R レポートを新たに作成する提案が行われ、同国からの入力文書を基に作業文書が作成された。本会合においては欧州からの共同提案により LSA に関する制度及び標準化状況に関する情報が追加されたほか、ロシアでの周波数共用及びネットワークインフラ共用のユースケースに関する情報が Annex として記載された。

ブラジルからは一次利用者を保護しつつ、効率的な二次利用を促進する規制フレームワークに関する情報が入力されていたが、これについては Annex としないことをブラジルが希望したことからノートされるのみに留まった。また、インドネシアからの関係者は本件の審議に不参加であったが、同国からの入力文書を受け国境付近における干渉問題への対応が Annex に追加された。しかし、WP1B プレナリーにおいて、インドネシア関係者から本件を Annex に含める必要はなく、本問題の解決に向けて BR からの支援を要請することが意図であった点が連絡されたため、Annex からは削除された。これらの審議を経て、本作業文書は欧州およびロシアの情報が追加される形で更新され、次回会合へとキャリーフォワードされた。

また、モバイル業務のシェアリングに関する情報が含まれているため WP5A と WP5D にリエゾン文書を発出することがカナダ（WP5A 議長）より提案され、合意された。

2 Working Group 1B-2 その他の事項（議長: Ms.Owen（HOL））

入力文書：1B/198(ITU-D SG 1/Q.8), 203(インドネシア), 207(米国), 210(インドネシア), 213(中国), 215(中国), 216(中国), 218(ロシア), 220(ロシア), 222(ブラジル), 234(RG レポート), 232r1(コロンビア)

出力文書：1B/TEMP/ 89,90,91,92,93,94,95,96,97,98,99,100,101,102,106

【主要結果】

ロシアが RG 議長を務めてきたデジタルディビデントに関する報告が完成し、SG1 に上程された。中国が提案した ITS に関する新課題提案は、ITS に関する研究が WP5A において進展中であることも考慮し、本件について WP5A に対し連絡し、新課題作成に関する助言を求めるリエゾン文書が作成された。

また、RA-15 に向けて課題 3 件（205-1/1：Long-term strategies for spectrum utilization、208/1：

Alternative methods of national spectrum management、216/1 : Spectrum redeployment as a method of national spectrum management) の研究期間を一律 2019 年まで延長する提案文書が作成され SG1 に上程され、承認された。課題 224/1 (Technical convergence with respect to terrestrial fixed, mobile, and broadcasting interactive multimedia applications and the associated regulatory environment) については削除されることで合意され、本件も SG1 において承認された。

さらに、ITU-R 決議 4 件 (ITU-R 11-4 : Development of an upgraded spectrum management system、ITU-R 22-3 : Improvement of national radio spectrum management practices and techniques、ITU-R 54-1 : Studies to achieve harmonization for short-range devices (SRDs)、ITU-R 58 : Studies on the implementation and use of cognitive radio systems) に関する更新案も作成され、SG1 に上程された。その他、一部の勧告・報告に対するエディトリアル修正等を含め合計 10 件の文書が SG1 に上程され、すべて承認された。

2.1 勧告ITU-R SM.1046 周波数利用に関する定義及び電波利用システムの効率性

入力文書 : 1B/ 213(中国)

出力文書 : 1B/TEMP/96

ITU-R 勧告 SM.1046 (周波数利用に関する定義及び電波利用システムの効率性) は最後に改訂されたのが 2006 年であることから、中国が同勧告の更新を提案した。具体的には、National Spectrum Management ハンドブックの第 8 章において、周波数利用や周波数利用効率性の計測に関する数式等が既に更新されたことを受け、これと整合性を図る観点から同勧告の修正が提案された。これについては特段の議論なく承認され、TEMP/96 が作成され、次回会合へのキャリーフォワードされることで合意された。

2.2 報告ITU-R SM.2012 周波数管理における経済的側面

入力文書 : 1B/ 210(インドネシア),218(ロシア),232r1(コロンビア)

出力文書 : 1B/TEMP/95

報告 ITU-R SM.2012 (周波数管理における経済的側面) の更新として、インドネシアの電波利用料制度の概要、ロシアの電波利用料制度における新しい料額算定手法、コロンビアにおける周波数の利用効率性を取り入れた利用料制度の追記が提案され、いずれも特段の議論なく承認された。本文書は TEMP/95 として承認され、今後、各国から情報提供がある可能性を踏まえ、次回会合へキャリーフォワードすることで合意された。

2.3 報告ITU-R SM.2093 周波数管理における制度的枠組み

入力文書 : 1B/207(米国),215(中国)

出力文書 : 1B/TEMP/94

周波数管理機関の再編に伴い、米国および中国が報告 ITU-R SM.2093 (周波数管理における制度的枠組み) における同国に関する記載の現行化を提案し、特段の議論なく承認された。WP1B において TEMP/94 として承認され、SG1 においても特段の議論なく承認された。

2.4 デジタルディビデントに関する新報告

入力文書 : 1B/ 198(ITU-D SG 1/Q.8),203(インドネシア),220(ロシア),222(ブラジル),234(RG
ラポータ)

出力文書 : 1B/TEMP/97, 98

(1) 主要結果

ロシアが RG 議長を務めたデジタルディビデントに関する新報告が完成し、SG1 に上程され、その後の SG1 においても承認された。

(2) 審議概要

デジタルディビデントに関する PDNRep は 2014 年 6 月の WP1B 会合において完成しなかったことから、ロシアが議長を務めるラポータグループが設置された。本会合ではインドネシア、ロシア、ブラジル等からの入力文書を受け、WP1B プレナリー開催前に RG 審議を 1 回開催し、その後は DG（議長：Plossky 氏（ロシア））を設置して審議した。

インドネシアからの入力文書に基づき、インドネシア、シンガポール、マレーシアの 3 カ国の間で頻発している干渉問題を受け、干渉問題回避に寄与する免許制度等の推奨案がアジアにおける事例として本文に追加された。

また、ブラジルからは同国における地デジ化後の跡地周波数帯（700MHz 帯）の移行プロセスに関する情報提供があったことから、これについてもブラジルにおける事例として Annex に追加された。さらに、ロシアがこれまで文章の記載がなかった「4.2 周波数計画の原則（Spectrum planning principles）」のテキストを提供し、文書に統合された。これらの更新を経て PDNRep は Draft New Report へと格上げされ、WP1B における承認を経て、SG1 に上程された。その後、SG1 における審議においても特段の議論なく承認された。なお、ITU-D SG 1 からは 課題 8/1 の活動を周知するリエゾン文書を受領したことから、同 SG に対しデジタルディビデントに関する報告が完成した旨を連絡するリエゾン文書が発出された。

2.5 ITSに関する新課題提案

入力文書：1B/216(中国)

出力文書：1B/TEMP/102

(1) 主要結果

中国からの ITS に関する新課題提案を受け、ITS に関する研究が WP5A において進展中であることも考慮し、本件について WP5A に対し連絡し、新課題作成に関する助言を求めるリエゾン文書が作成された。

(2) 審議概要

現在、研究開発が進められている ITS では多くの無線技術が利用されることになり、既存の周波数管理にも大きな影響を及ぼす可能性があることから、ITS に係る無線局管理や混信の回避等を目指すために「ITS における周波数管理」を WP1B における新研究課題とすることを中国が提案し、本件は DG を設けて審議された（DG 議長：Lee 氏（韓国））。

DG における審議では WP5A 議長（カナダ）から ITS の専門家は WP5A であり、同 WP において課題 205 に即した研究が進展中であることから作業の重複が懸念されるとの見解が提示され、米国がこれを支持した。日本、米国からの提案により、課題 205 との重複・関係性を慎重に見極めてから作業を開始すべきとする方向で合意された。また、米国は ITS の周波数管理の側面について WP1B が研究の実施を希望する場合、これを独自に進め、その結果を WP5A と共有すればよいとし、本件に関して WP1B において個別の研究課題を策定することは不要であるとした。

これらの審議を経て、ITS は課題 205 が関連しており SG5、WP5A で研究が進展中であることを踏まえた上で、WP1B で ITS に関する新課題提案があったことを WP5A に連絡し、課題ドラフトに関して WP5A からの助言を求めるリエゾン文書が作成された。本リエゾン文書は WP1B プレナリーにおいて承認され、WP5A に対して発出された。

2.6 WP1Bが担当する課題・勧告

入力文書：1/2(Rev.4) (SG1 議長)

出力文書：1B/89,99,100,101,106

WP1B 議長により、RA-15 に対する準備の一環として WP1B が担当する課題、勧告の更新・確認が求められ、課題については DG を設けて審議した (DG 議長：Lee 氏 (韓国))。DG における審議の結果、以下のような提案で合意され、WP1B において承認され、SG1 においても承認された。

課題番号	主題	提案
205-1/1	Long-term strategies for spectrum utilization	期限を 2019 年まで延長
208/1	Alternative methods of national spectrum management	期限を 2019 年まで延長
210-3/1 ¹	Wireless power transmission	(WP1A の審議により 2017 年まで延長)
216/1	Spectrum redeployment as a method of national spectrum management	期限を 2019 年まで延長
224/1	Technical convergence with respect to terrestrial fixed, mobile, and broadcasting interactive multimedia applications and the associated regulatory environment	削除

また、課題の本文テキストにおいて、研究成果により勧告を作成することのみが decides に記載されているものがあるため、これらは共通して「勧告、報告、あるいはハンドブックを作成する」という文言に更新された。

勧告の更新についてはイスラエルからの提案により以下の 4 件の ITU-R 決議の改訂が検討され、承認された。本改訂案は SG1 に上程され、SG1 においても承認された。

- ITU-R 11-4 Development of an upgraded spectrum management system
- ITU-R 22-3 Improvement of national radio spectrum management practices and techniques
- ITU-R 54-1 Studies to achieve harmonization for short-range devices (SRDs)
- ITU-R 58 Studies on the implementation and use of cognitive radio systems

2.7 その他の勧告・報告のエディトリアルな修正

入力文書：1B/ 207(米国)

出力文書：1B/TEMP/90,91,92,93

米国より以下の 4 件に対するエディトリアルな修正が提案され、特段の議論なく承認された。これらは WP1B においてそれぞれ TEMP/90,91,92,93 として承認され、SG1 においても特段の議論なく承認された。

- 勧告 ITU-R SM.668-1 (Electronic exchange of information for spectrum management purposes)
- 勧告 ITU-R SM.1131 (Factors to consider in allocating spectrum on a worldwide basis)

¹ WP1A が主担当であり、WP1B は副担当

- 勧告 ITU-R SM.1756 (Framework for the introduction of devices using ultra-wideband technology)
- 報告 ITU-R SM.2255-4 (Technical characteristics, standards, and frequency bands of operation for radio-frequency identification (RFID) and potential harmonization opportunities)

なお、上記の審議とは別に以下の文書が WP1B プレナリーに割振られたが、入力文書の内容については審議されず、すべての文書がノートされた。

主な主題： CISPR データベース、電磁波の人体曝露の問題)

入力文書： 181(Annexes 1, 2, 3 & 9)(WP 1B),182(WP 1A),188(IMO),189(CISPR),190(イスラエル), 192(WP 5A),193(WP 5C),195(WP 5C),196(WMO),200(WP 5D),211(イスラエル)

表-2 入力文書一覧

文書番号	提出元	表題	
181	Chairman, WP1B	Report on the meeting of Working Party 1B (Geneva, 3-11 June 2014)	WP1B 会合の報告 (2014年6月3日～11日、ジュネーブ)
182	WP 1A	Liaison statement to Working Parties 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C and 7D (copy to Working Parties 1B and 1C) - Characteristics of the unwanted emissions in the out-of-band and spurious domains for digital modulation technology used in broadband communication systems	不要発射特性に関する WP1A からのリエゾン文書
183	WP 4C	Liaison statement to Working Party 1B - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] - Spectrum management principles and spectrum engineering techniques for dynamic access to spectrum by radio systems employing cognitive capabilities	WP1B への連絡文書 暫定新レポート案 ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] のための作業文書 コグニティブ無線を利用したダイナミック・アクセスのための周波数管理原則と周波数利用技術
184	WP 4A	Liaison statement to Working Party 1B - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] - Spectrum management principles and spectrum engineering techniques for dynamic access to spectrum by radio systems employing cognitive capabilities	WP1B への連絡文書 暫定新レポート案 ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] のための作業文書 コグニティブ無線を利用したダイナミック・アクセスのための周波数管理原則と周波数利用技術
185	WP 7B	Liaison statement to Working Party 1B - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] - Spectrum management principles and spectrum engineering techniques for dynamic access to spectrum by radio systems employing cognitive capabilities	WP1B への連絡文書 暫定新レポート案 ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] のための作業文書 コグニティブ無線を利用したダイナミック・アクセスのための周波数管理原則と周波数利用技術
186	WP 7D	Reply liaison statement to Working Party 1B - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] - Spectrum management principles and spectrum engineering techniques for dynamic access to spectrum by radio systems employing cognitive capabilities	WP1B への連絡文書 暫定新レポート案 ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] のための作業文書 コグニティブ無線を利用したダイナミック・アクセスのための周波数管理原則と周波数利用技術
187	WP 7C	Liaison statement to Working Party 1B - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] - Spectrum management principles and spectrum engineering techniques for dynamic access to spectrum by radio systems employing cognitive capabilities	WP1B への連絡文書 暫定新レポート案 ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] のための作業文書 コグニティブ無線を利用したダイナミック・アクセスのための周波数管理原則と周波数利用技術
188	IMO	Report of the tenth meeting of the Joint IMO/ITU Experts Group on maritime radiocommunication matters	IMO/ITU ジョイントエキスパートグループ会合の報告
189	CISPR	Liaison to ITU-R on the CISPR database for the protection of radio services	無線業務の保護のための CISPR データベースに関する ITU-R へのリエゾン文書
190	Israel	RF Human hazards - Intersectoral activities	無線通信周波数の電磁波の人体への危害（部門を越えた活動について）
191	WPs 5A・5C	Liaison statement to Working Party 1B on development of a draft new Report ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] (copy for information to Working Parties 1A, 5B and 5D) - Spectrum management principles and spectrum engineering techniques for dynamic access to spectrum by radio systems employing cognitive capabilities	新レポート案（SM.[DYNAMIC ACCESS]に関する連絡文書。
192	WP 5A	Liaison statement to Working Party 1A (copy for information to Working Parties 1B, 1C, 4A, 4C, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C and 7D) - Characteristics of the unwanted emissions in the out-of-band and spurious domains for digital modulation technology used in broadband communications systems	不要発射特性に関する WP1A へのリエゾン文書
193	WP 5C	Liaison statement to Working Parties 1A, 1B, 3M, 4A, 4C, 5A, 5B, 5D, 6A, 7B, 7C and 7D - Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R F.758-5 - Systems parameters and considerations in the development of criteria for sharing or compatibility between digital fixed wireless systems in the fixed service and systems in other services and other sources of interference	WP1B への連絡文書(CC: WP1A, 3M, 4A, 4C, 5A, 5B, 5D, 6A, 7B, 7C 及び 7D) 勧告 ITU-R F.758-5（デジタル固定無線システムと他の無線システム等の共用基準）の改訂案
194	WP 5B	Liaison statement to Working Party 1B (copied for information to Working Parties 5A, 5C & 5D) - Liaison statement on the development of a working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS]	WP1B への連絡文書（CC: 5A, 5C, & 5D） 暫定新レポート案 ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] のための作業文書の進展についての連絡文書
195	WP 5C	Liaison statement to Working Parties 1B, 4A, 4C, 5A, 5B, 5D, 6A, 7B, 7C and 7D - New Report ITU-R F.2323 - Fixed service use and future trends	WP1B, 4A, 4C, 5A, 5B, 5D, 6A, 7B, 7C, 7D への連絡文書 新レポート ITU-R F.[FS USE-TRENDS] 固定業務の利用と今後の動向

文書番号	提出元	表題	
196	WMO	Liaison statement to Working Parties 1B, 4A, 4C, 5A, 5B, 7B, 7C as responsible Groups for WRC-15 agenda item 1.1, 1.3, 1.5, 1.6, 1.9, 1.10, 1.11, 1.12, 1.17, 1.18, 7, 9.1 (Issues 9.1.1, 9.1.2, 9.1.5, 9.1.6, 9.1.8), 10 (copy to Working Party 5D)	2014-2017年のアナログ放送のデジタル化に関するITU-Dの作業についての連絡文書
197	ITU-D SG 1	Liaison statement from ITU-D/ITU-R Joint Group for Resolution 9 to ITU-R SG 1, ITU-R SG 5, ITU-R SG 6 and their relevant Working Parties on work items during the 2014-2017 study period	WTDC 決議 9 に関する ITU-D/ITU-R ジョイントグループから、SG1,5,6 及びその関連 WP への連絡文書
198	ITU-D SG 1	Liaison statement from ITU-D Study Group 1 Question 8/1 to ITU R SG 1 WP 1B, ITU-R SG 5 WP 5D, ITU-R SG 6 WP 6A, ITU-T SG 9, ITU-T SG 16 on ITU-D work on transition from analogue to digital broadcasting 2014-2017	コグニティブ機能をもった無線通信システムによる周波数へのダイナミックアクセスのための周波数管理原理や周波数エンジニアリング技術に関する ITU-R 暫定新報告案 SM.[DYNAMIC ACCESS] に向けた作業文書に関する WP 1B へのリエゾン文書
199	Chairman, SG 1	Results of the 21st RAG meeting (Geneva, 24 to 27 June 2014)	第 21 回 RAG 会合の報告 (2014 年 6 月 24 日～27 日、ジュネーブ)
200	WP 5D	Liaison statement to WP 1A (copy for information to WPs 1B, 1C, 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 6A, 7B, 7C and 7D) - Characteristics of the unwanted emissions in the out-of-band and spurious domains for digital modulation technology used in broadband communication systems	不要発射特性に関する WP1A へのリエゾン文書
201	WP 5D	Liaison statement to Working Party 1B (copy to WPs 5A, 5B and 5C for information) - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS]	新レポート案 (SM.[DYNAMIC ACCESS])に関する WP1B への連絡文書.
202	Chairman, CG on SRD	Summary of the responses to the Questionnaire on "Classifications of SRD applications"	SRD アプリケーションの分類に係る質問票への回答
203	Indonesia	Mitigation of cross-border interference	国境を越えて発生する混信の緩和
204	ITU-T SG 15	Liaison statement on consented revised Recommendation ITU-T G.9959	承認済改訂勧告 ITU-T G.9959 に関するリエゾン文書
205	Brazil	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[INNOVATIVE REGULATORY TOOLS] - Innovative regulatory tools to support enhanced shared use of the spectrum	新レポート (SM. [INNOVATIVE REGULATORY TOOLS] (周波数共用を促進する新たな制度的手法)) 素案に係る作業文書について
206	USA	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] - Spectrum management principles, challenges and issues related to radio systems employing cognitive capabilities	暫定新レポート案 ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] のための作業文書 コグニティブ無線に関連した周波数管理原則と検討課題
207	USA	Proposed editorial modifications of several Recommendations and Reports	勧告と報告に対するエディトリアルな修正提案
208	TU-D SG 1	Liaison statement on case studies for utilization of TV white space (TVWS) - ITU-D Study Group 1 - Joint ITU-D/ITU-R Group on Resolution 9: Participation of countries, particularly developing countries, in spectrum management	テレビホワイトスペースの利用に関する事例研究の連絡文書 ITU-D SG1-決議 9 に関する ITU-D/ITU-R 合同グループ
209	Indonesia	Comment on working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[Dynamic Access] - Spectrum management principles, challenges and issues related to radio systems employing cognitive capabilities	暫定新レポート案 ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] のための作業文書に対する意見 コグニティブ無線に関連した周波数管理原則と検討課題
210	Indonesia	Spectrum fee in Indonesia	インドネシアの電波利用料
211	Indonesia	RF Human hazards - ITU Intersectoral activities	無線通信周波数の電磁波の人体への危害 (部門を越えた活動について)
212	China	Research on WPT device classification and regulation method	WPT 機器の分類及び規制方策の調査結果
213	China	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SM.1046 - Definition of spectrum use and efficiency of a radio system	ITU-R 勧告 SM.1046 (周波数利用に関する定義及び電波利用システムの効率性) に係る改訂素案について
214	China	Proposed contribution to the working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS]	暫定新レポート案 ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] のための作業文書に対する提案寄書
215	China	The draft proposal on the revision of "Report of guidance on the regulatory framework for national spectrum management"	ITU-R 報告書 SM.2093-1 (周波数管理における制度的枠組み) に係る改訂素案について
216	China	Draft proposal for a new ITU-R Question - Radio management on intelligent transport systems	ITU-R における新規研究課題の提案 (ITS における周波数管理)
217	Russian Federation	Model of a cognitive system based on geolocation database	位置情報データベースを基にしたコグニティブシステムのモデル
218	Russian Federation	Proposed modification to Report ITU-R SM.2012-4 (2014) "Economical aspects of spectrum management"	レポート SM.2012-4 (周波数管理における経済的側面) に関する修正提案

文書番号	提出元	表題	
219	Russian Federation	Working materials towards new modification of Handbook on National Spectrum Management (Edition of 2005)	周波数管理のための手引き書の改訂に向けた作業について
220	Russian Federation	Working document towards a draft new Report ITU-R SM.[DIGITAL DIVIDEND ISSUES] - Working materials towards Section 4.2 - Spectrum planning principles	暫定新レポート案 ITU-R SM.[DIGITAL DIVIDEND ISSUES]のための作業文書 第 4.2 節「周波数割当計画の原則」に向けたたたき台
221	Canada	Proposed modifications to the working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] - Spectrum management principles, challenges and issues related to radio systems employing cognitive capabilities	暫定新レポート案 ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS]のための作業文書に対する修正提案 コグニティブ無線に関連した周波数管理原則と検討課題
222	Brazil	National experience on the implement of the digital dividend in Brazil	ブラジルにおける DIGITAL DIVIDEND の実現に関する事例報告
223	Korea	Proposed modification to working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] - Spectrum management principles, challenges and issues related to radio systems employing cognitive capabilities	暫定新レポート案 ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS]のための作業文書に対する修正提案 コグニティブ無線に関連した周波数管理原則と検討課題
224	Japan	Wireless power transmission technology rulemaking status of Japan	日本の WPT 向け法制度整備状況
225	Japan	Proposed revision of the Report ITU-R SM.2303	報告 ITU-R SM.2303 の改訂提案
226	Japan	Proposed revision of working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R SM.[WPT] - Wireless Power Transmission (WPT) systems	暫定新勧告案 ITU-R SM.[WPT]に向けた作業文書の改訂提案
227	Japan	Proposed revision to Appendix 4 to Annex 2 to Report ITU-R SM.2153-4 - Technical and operating parameters and spectrum use for short range radiocommunication devices	ITU-R 報告 SM.2153-4 の改訂提案
228	Finland , Austria , France , Germany	Update proposal on the working document towards a PDNR ITU-R SM.[INNOVATIVE REGULATORY TOOLS]	新レポート素案 SM. [INNOVATIVE REGULATORY TOOLS] (周波数共用を促進する新たな制度的手法) に係る作業文書の更新提案について
229	Telecom Italia	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] - Spectrum management principles, challenges and issues related to radio systems employing cognitive capabilities	暫定新レポート案 ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS]のための作業文書 コグニティブ無線に関連した周波数管理原則と検討課題
230	Argentine Republic	Regulatory and technical proposals to working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS]	暫定新レポート案 ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS]のための作業文書に対する規制面・技術面の提案
231	France	Proposal for a Preliminary draft new Recommendation ITU-R SM.[SRD CATEGORIES] - Global harmonization of SRD categories	新勧告素案 SM.[SRD CATEGORIES] (SRD の分類の共通化) に係る提案について
232	Colombia	Procedure for determining the occupation level in specific geographic area for point to point links	効率的な周波数利用を促進するための経済的手法の提案
233	Chairman, SG 1	Recommendation ITU-T G.9959 - Radio related draft Recommendation ITU-R "G.WNB-FREQ" proposed by ITU-T Q15/15	ITU-T Q15/15 による勧告 ITU-R "G.WNB-FREQ" 作成の提案
234	Rapporteur, RG on DD issues	Activities of the Rapporteur Group on Digital Dividend Issues	デジタルディビデントに関するラポーターレポート
235	Chairmen, WPs 1A and 1B	ETSI TC ERM liaison to ITU-R WP 1A on Technical Report on WPT	ETSI TC ERM リエゾン文書
236	BR Study Groups Department	List of documents issued (Documents 1B/181 - 1B/236)	発行文書リスト

表-3 出力文書一覧

文書番号	主題	提出元
87	Working document towards preliminary draft new Recommendation ITU-R SM.[SRD-CATEGORIES] - Global harmonization of SRD categories	WP 1B (WG 1B-1)
88	Draft modification of Report ITU-R SM.2153-4 - Technical and operating parameters and spectrum use for short-range radiocommunication devices	WP 1B (WG 1B-1)
89	Preliminary draft actions proposed to RA-15 on the ITU-R Resolutions of concern to Working Party 1B	Vice-Chairman, SG 1
90	Draft [editorial] modification to Recommendation ITU-R SM. 668-1, Electronic exchange of information for spectrum management purposes	WP 1B (WG 1B-2)

91	Draft [editorial] modification to Report ITU-R SM.2255-0 - Technical characteristics, standards, and frequency bands of operation for radio-frequency identification (RFID) and potential harmonization opportunities	WP 1B (WG 1B-2)
92	Draft [editorial] modification to Recommendation ITU R SM.1756-0 - Framework for the introduction of devices using ultra-wideband technology	WP 1B (WG 1B-2)
93	Draft [editorial] modification to Recommendation ITU-R SM.1131-0 - Factors to consider in allocating spectrum on a worldwide basis	WP 1B (WG 1B-2)
94	Draft (editorial) modification to Report ITU-R SM.2093-1 - Guidance on the regulatory framework for national spectrum management	WP 1B (WG 1B-2)
95	Preliminary draft modification to Report ITU-R SM.2012-4 - Economic aspects of spectrum management	WP 1B (WG 1B-2)
96	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SM.1046-2 - Definition of spectrum use and efficiency of a radio system	WP 1B (WG 1B-2)
97	Draft reply to liaison statements from ITU-D Study Group 1 (SG 1), Question 8/1 - New Report ITU-R SM. [Digital dividend issues] - The challenges and opportunities for spectrum management resulting from the transition to digital terrestrial television in the UHF bands	WP 1B
98	Preliminary draft new Report ITU-R SM.[DIGITAL DIVIDEND ISSUES] - The challenges and opportunities for spectrum management resulting from the transition to digital terrestrial television in the UHF bands	WP 1B
99	Alternative methods of national spectrum management	WP 1B (WG 1B-2)
100	Draft revision of Question ITU-R 216/1 - Spectrum redeployment as a method of national spectrum management	WP 1B (WG 1B-2)
101	Draft revision of Question ITU-R 205-1/1 - Long-term strategies for spectrum utilization	WP 1B (WG 1B-2)
102	Draft liaison statement to Working Party 5A - A proposed draft new Question concerning spectrum management on Intelligent Transport Systems	WP 1B (WG 1B-2)
103	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[INNOVATIVE REGULATORY TOOLS] - Innovative regulatory tools to support enhanced shared use of the spectrum and the infrastructure of telecommunications network	WP 1B(WG 1B-1)
104	Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R SM.[G.WNB-FREQ] - Narrow-Band Wireless Home Networking transceivers Specification of spectrum related components	WP 1B (WG 1B-1)
105	Liaison statement to Working Parties 5A and 5D (Copy to ITU-D SG1 for information) - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[INNOVATIVE REGULATORY TOOLS] - Innovative regulatory tools to support enhanced shared use of the spectrum	WP 1B (WG 1B-1)
106	Proposed suppression of Question ITU-R 224/1 - Technical convergence with respect to terrestrial fixed, mobile, and broadcasting interactive multimedia applications and the associated regulatory environment	WP 1B (WG 1B-2)
107	Draft terms of reference of the Working Party 1B Correspondence Group on SRD classification	WP 1B (WG 1B-1)
108	Draft terms of reference of the Working Group 1B Rapporteur Group on CRS spectrum management challenges	WP 1B (WG 1B-1)
109	(Draft) reply liaison statement to Working Parties 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 7B, 7C and 7D - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[CRS SPECTRUM MANAGEMENT CHALLENGES] - Spectrum management principles, challenges and issues related to dynamic access to frequency bands by means of radio systems employing cognitive capabilities	WP 1B (WG 1B-1)
110	(Draft) reply liaison statement to ITU-T Study Group 15 (copy to ITU-R Working Parties 5A and 5D) - Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R SM.[G.WNB-FREQ] - Narrow-Band wireless home networking transceivers, specification of spectrum related components	WP 1B (WG 1B-1)
111	Draft reply liaisons statement to ITU-D Study Group 1 (SG1), Resolution 9 (copy to ITU-R Working Party 6A and ITU-R/ITU-D Joint Group on Resolution 9) - Working document towards a preliminary draft new Report SM.[CRS SPECTRUM MANAGEMENT CHALLENGES] - Spectrum management principles, challenges and issues related to dynamic access to frequency bands by means of radio systems...	WP 1B (WG 1B-1)
112	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[CRS SPECTRUM MANAGEMENT CHALLENGES]	WP 1B (WG 1B-1)